



2024年2月27日

各 位

会社名 出光興産株式会社  
代表者名 代表取締役社長 木藤 俊一  
(コード番号:5019 東証プライム市場)  
問合せ先 経理財務部 IR室長 茂木 大輔  
(TEL: 03 - 3213 - 9307)

## 米国レイクチャールズにおけるクリーンアンモニア製造プロジェクト検討について

出光興産株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:木藤 俊一、以下 出光興産)は、三菱商事株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:中西 勝也、以下 三菱商事)及び Proman が米国レイジアナ州レイクチャールズで検討を進めているクリーンアンモニア製造プロジェクト(注 1)に参画することで両社と合意しました。

本プロジェクトでは、2030年度までに年間約120万トンのクリーンアンモニア生産開始を目指しており、最新鋭の国産低炭素化技術等を採用(注 2)し、高水準の低炭素クリーンアンモニア(注 3)を製造予定です。

出光興産は、徳山事業所(山口県周南市)の既設インフラを活用したアンモニア輸入基地を設置し、化学・鉄鋼分野の素材を生産・供給しているコンビナート各社を含む周辺広域の事業所向けに2030年に100万トン超のアンモニア供給を目指しています。三菱商事は、同社が保有する愛媛県今治市にあるLPGターミナルをアンモニアターミナルに一部転換し、四国・中国地域を中心とした様々な産業用途向けにクリーンアンモニア需要への供給拠点整備を目指しています。出光興産と三菱商事の両社は本プロジェクトで生産されるクリーンアンモニアをこれらの受入拠点を通じ、日本国内へと供給することを構想しています。

アンモニアは燃焼時にCO<sub>2</sub>を排出せず、既存の輸送手段・貯蔵設備を有効活用できることから、様々な産業での低・脱炭素化への貢献が期待されます。3社は強靱かつ大規模なクリーンアンモニアサプライチェーン構築に向けた検討を進めて参ります。

注 1:三菱重工業株式会社(以下、三菱重工)及び米 Zachry Group に FEED(基本設計)を発注中。

注 2:アンモニア製造プラントに Topsøe A/S 社の [SynCOR™アンモニアプロセス](#)及び三菱重工が関西電力株式会社と共同で開発した [Advanced KM CDR Process™](#)を採用。

注 3:一般社団法人クリーン燃料アンモニア協会が公表したクリーンアンモニアの定義では、一般的な天然ガス SMR(水蒸気メタン改質)をベースとした場合の排出量を基準として、製造時(Gate to Gate)に排出されるCO<sub>2</sub>排出量が6割減となるアンモニアをクリーンアンモニアと定義しているが、本プロジェクトでは製造時の8割超、原料調達から製造時(Well to Gate)の7割超のCO<sub>2</sub>排出削減を想定している。

## 【各社概要】

### 出光興産

(設 立)1940 年

(本 社)東京都千代田区大手町一丁目 2 番 1 号

(代表者)代表取締役社長 木藤 俊一

(事業内容)燃料油、石油化学、潤滑油、電子材料、電力・再生可能エネルギー、石油・ガス開発、石炭などの分野でグローバルに事業を展開。

### 三菱商事

(創 立)1954 年

(本 社)東京都千代田区丸の内二丁目 3 番 1 号

(代表者)代表取締役社長 中西 勝也

(事業内容)天然ガス、総合素材、化学ソリューション、金属資源、産業インフラ、自動車・モビリティ、食品産業、コンシューマー産業、電力ソリューション、複合都市開発の 10 グループに産業 DX 部門、次世代エネルギー部門を加えた体制で、幅広い産業を事業領域として多角的なビジネスを展開。

### Proman

(創 立)1984 年

(本 社)Samstagernstrasse 41, 8832 Wollerau, Switzerland

(代表者)David Cassidy, Chief Executive Officer

(事業内容)メタノール、肥料、その他の天然ガス由来製品のグローバル・リーダー。独自のアプローチにより、プロジェクト開発・生産からマーケティング・ロジスティクスに至るサプライチェーン全体にわたって価値を提供。

